

学生担当者報 6

発行/天理教学生担当委員会 発行責任者/茶谷 良佐 編集責任者/辻 雄二郎

TEL 0743-63-1511(内線 5817) 直通:0743-63-2489 FAX 0743-62-5780
E-mail tsa@tenrikyo.or.jp TSA Website https://tsa.tenrikyo.or.jp

Vol. 412
立教 184 年
2021 年
5 月 25 日発行

お知らせ

六月例会

開催の有無が決まり次第、TSA website でお知らせします。

学生層育成者講習会

日程・会場案内

【直属】

・高知	6 月 18 日	大教会
・小南郡	6 月 22 日 12 時 00 分～	大教会
・城法	6 月 23 日 12 時 15 分～	大教会
・府内	6 月 24 日 11 時 30 分～	大教会
・神崎	6 月 24 日 12 時 00 分～	大教会

報告

四月例会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため

「四月例会」は中止といたしました。

業務記録

《立教 184 年 4 月 16 日～5 月 15 日》

4 月 17 日	学修部部会
24 日	担当者活動部部会
	学修部部会
	人材育成部部会
25 日	委員会
	編集部部会
27 日	まなびばチーム会議
5 月 10 日	研修会チーム会議
13 日	学生部部会
	学生連絡会
14 日	高校 3 年生 Joyous Style 研究室
	人材育成部部会
	編集部部会

地道に丹精し続ける



今年の一月二十
五日に活動方針を
発表し、四カ月が
過ぎました。

新型コロナウイルスの感染拡大が収ま
りを見せない中、立教百七十七年学生担
当者大会における真柱様のお言葉に学生
層育成のあり方を求め、活動方針『共に
教祖のようぼくに育つ』を発表しました。
そして、「参拝のすすめ」「Happist の活
用」を重点項目として、「学生たちが教祖
のようぼくとして立派に成人するよう、
導き育てる」という学生担当委員会発足
の目的を「日常の丹精」を中心に置いて
進めていきたいと、茶谷委員長から挨拶
がありました。

私事ですが、私が所属する教会に縁の
ある学生が、三月の末におぢばがえりを
しました。地元が新潟の彼は、山梨の大
学から和歌山にある大学に編入学するた
めに和歌山に移住していました。彼には
毎月、手紙を書くとともに、「HAPPIST
[NOT] NET」を「HappistPR カード」

学生部 委員

飯降 好助

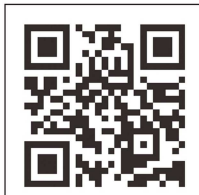
あつても、神一条の心遣いで通ること
を心に定め伏せ込む実、必ず次の代
へ受け継がれるのであります。それを
楽しみに、私たちは陽気ぐらしに向か
って、末代かけて道を繋ぐのであつて、
私たち一人ひとりがいわばその繋ぎ役
であります」

今年の年頭挨拶の中で真柱様は、「私
たちのつとめは、その親神様のお力を
頂かないことには進めていくことがで
きない」と話された上で、「地道に丹精
し続ける」ことの大切さについてお話
してくださいました。

学生がおぢばや教会に繋がるよう声
を掛けるとともに、親神様のお働きを
頂けるように自らが教えを心に治めつ
つ、その実行に努め、共に成人させ
ていただけるようおつとめで願いなが
ら、先を楽しみに日常の丹精に心を込
めたいと思います。

明日につながる 学生 WEBSITE Happist

https://happist.net



QRコード読み取り

- お道の教えや心にグッとくるお話をご紹介
- おぢばの行事情報や各地の学生会情報も充実
- 「Happistスマイル」では学生の笑顔をお届け

学生に手渡しできるリーフレット
HAPPIST [NOT] NET
ハッピースト ネット

毎月25日発行。例会資料としてお配りしています。
追加のご希望は学生担当委員会事務局編集部まで。

令和 3 年 学生担当委員会 活動方針 『共に教祖のようぼくに育つ』

高 校 3 年 生

Joyous Style

親里ぢばは人類のふるさと。仲間と共におぢばで教えを学ぶことは、その後の信仰生活の上で有意義なことです。おぢば、教会に繋がり、教えを拠り所とした生活を送ることができるよう、以下の要項で高校 3 年生 Joyous Style を開催いたします。

募 集 要 項

- ▽期 間・・・第 1 回：令和 3 年 8 月 8 日（日）～8 月 10 日（火）
第 2 回：令和 3 年 8 月 11 日（水）～8 月 13 日（金）
※本部宿舍での合宿となります。
※新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては開催中止の可能性があります。
- ▽受講対象・・・高等学校 3 年に在学し、全期間受講（2 泊 3 日）できる者。
（親里管内については天理高校第 I 部の自宅通学生に限り、受講可能です）
- ▽募集人員・・・各回 100 名（男子 50 名、女子 50 名） 計 200 名
- ▽内 容・・・おはなし、グループワーク、お楽しみ行事など
- ▽集 合・・・各回の初日 午前 9 時 30 分～10 時
・後日発送される「受付票」に記載されている宿舍に集合してください。
男子宿舍：本部第 7・8 母屋 女子宿舍：本部第 38 母屋
- ▽解 散・・・各回の最終日 午後 2 時頃（予定）
- ▽受講御供・・・5,000 円 参加当日に受付にて納めてください。
そのほか交通費などは別途必要になります。
- ▽主な感染症対策
- | | |
|----------------------|--------------------|
| ・3 密（密閉、密集、密接）を避ける工夫 | ・「手洗い、うがい」の徹底 |
| ・「アルコール消毒液」の設置 | ・部屋の「換気」の徹底 |
| ・「ソーシャルディスタンス」の十分な確保 | ・各所の「消毒作業」実施 |
| ・「検温」（朝夕の 2 回）の実施 | ・「食事、入浴」等の感染対策の工夫 |
| ・「一人一室」での就寝 | ・受講 2 週間前からの検温記録提出 |
- ※詳細につきましては、受講願書提出後に資料を郵送しますので、ご確認ください。

申 し 込 み

- ▽申込方法・・・以下の書類を調べ、最上級教会長の署名・捺印をいただいた後、学生担当委員会事務局に申し込んでください。
・受講願書 1 通（参加にあたっては、必ず保護者の同意を得てください）
・返信用封筒 1 枚（保護者氏名、住所、郵便番号を記入し、84 円切手を貼付ください）
- ▽申込期間・・・令和 3 年 6 月 25 日～令和 3 年 7 月 25 日
※定員になり次第、締め切らせていただきます。
- ※受講にあたっての詳細及び必要事項は、書面にて 7 月 18 日以降、随時保護者宛てに郵送いたします。
なお、受講いただく日程も同封いたします。必ず確認してください。
※必ず本人の意志を確認の上、お申し込みください。
※受講願書は学生担当委員会事務局、直属学生担当委員会、各教務支庁にあります。
Web site でも願書のダウンロード、必要事項の確認ができます。 <https://tsa.tenrikyo.or.jp>

問 い 合 せ 先

天理市守目堂町 213-4 おやさとかかた真南棟 3 階 学生担当委員会事務局
《郵便》〒632-8790 天理郵便局私書箱 1 号
《電話》0743-63-2489（学生担当委員会事務局直通）/FAX 0743-62-5780

第五十八期 天理教学生会委員総会 開催報告

天理教学生会は、五月一日から二日にかけて、Zoom ミーティングを用いて第五十八期天理教学生会 委員総会をオンラインにて開催し、学生九十名(教区十八団体四十名、直属十団体十七名、スタッフ三十三名)が参加しました。

参加した学生は、まず去る三月二十八日に開催した「春の学生おぢばがえり」式典での本部員 吉川万寿彦先生のお話を振り返り、それぞれが感じたことを共有しました。次に「道の学生成人目標」に焦点を当てて話し合いを行い、日常生活においてどういった心遣いや行いが成人に繋がるかを考えました。その後、第五十八期天理教学生会 橋本善希委員長より「新型コロナウイルスの節を通して、当たり前なことが有り難いことだと気付くことができた今、

様々なことに対して感謝し、喜びに溢れた一年にしたい」といった今期の活動方針についての思いを聞きました。
二日目は活動方針の質疑応答が行われ、各教区・直属の学生より真つすぐな意見、質問が飛び交いました。質疑応答の最後に橋本委員長は「親神様・教祖に喜んでいただけるよう、日々の親神様の御守護に気付き、どんな状況の中でも喜びを見出せる道の学生を目指して、みんなで協力していきましょう」と述べ委員総会は閉会しました。
委員総会で活動方針の議決をする予定でしたが、出席議決数が少なく議決にいたりませんでした。そこで七月三日、四日に臨時委員総会を開催する運びとなり、その場で議決を行います。

青 空

私が今まで一番嬉しかった出来事は、お世話取りしていた学生がおさづけの理を拝戴した日の夜、出掛けていく間際に放った何気ない一言でした。

「一番最初は永尾さんに取り次ぎたかったなあ」

ふざけてばかりだった学生なので、いつもの調子だったのかもしれませんが、私には、飛び跳ねてまわりたいくらい嬉しい一言でした。子どもというものは知らず知らずのうちに成長していくもので、時折驚かされます。

この出来事を通して、人材育成とは、環境や人の繋がりが大切であると感じました。実際、私が何か特別なことをしたわけではありません。天理の学生でしたので、寮の環境、又この学生に関わる人のおかげで出てきた一言だったと思います。

私もこれから学生に携わっていく中で少しでも成人できる環境の手助けになれるよう、自らが育つ努力をしていきたいと思っています。

人材育成部本部スタッフ 永尾信幸